

農地法第5条第1項第6号の規定による農地転用届出書

記入例

農業委員会会長 様

※認印、捨印(欄外)を押印いただいた
ほうが訂正が生じた際は便利です。

令和 6 年 8 月 1 日

譲受人

住宅 作造

譲渡人

土地 有二

下記のとおり転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定(移転)したいので、農地法第5条第1項第6号の規定により届け出ます。

記

1. 当事者の住所等	当事者の別	氏名	住所						
	譲受人	住宅 作造	〇〇県〇〇市〇〇町2丁目3番7号						
	譲渡人	土地 有二	〇〇県〇〇市〇〇町2丁目5番3号						
2. 土地の所在等	土地の所在	地番	地目		面積	土地所有者		耕作者	
			登記簿	現況	(㎡)	氏名	住所	氏名	住所
	〇〇市〇〇町〇〇	235番	畑	畑	330	土地有二	〇〇市〇〇町 2丁目5番3号	左に同じ	
計 330 ㎡ (田 ㎡ 畑 330 ㎡)									
3. 権利を設定し又は移転しようとする契約の内容	権利の種類	権利の設定移転の別		権利の設定移転の時期		権利の存続期間		その他	
	所有権	移転		受理有次第		永久			
4. 転用計画	転用の目的	自己住宅の建築							
	転用の時期	工事着工時期			受理有次第				
		工事完了時期			着工より6か月後				
転用の目的に係る事業又は施設の概要		木造2階建1棟、建築面積 130 ㎡ 上水道より取水、合併浄化槽より排水							
5. 転用することによって生ずる付近の農地、作物等の被害防除施設の概要	土留めはコンクリートブロック(L字溝)で行い、周辺の農地へ迷惑をかけないように注意します。 排水について、汚水は合併浄化槽から最終枡を経由し東側水路(道路側溝)へ排水し、雨水は東側水路(道路側溝)へ排水し、被害のないようにします。 万一、被害が生じた場合は、転用事業主の責任において解決します。								

(記載要領)

1. 当事者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、それぞれ記載してください。
2. 譲渡人が2人以上である場合には、届出書の差出人は「譲受人何某」及び「譲渡人何某外何名」とし、届出書の1及び2の欄には「別紙記載のとおり」と記載して申請することができるものとします。この場合の別紙の様式は、次の別紙1及び別紙2のとおりとします。
3. 「転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、事業又は施設の種類、数量及び面積、その事業又は施設に係る取水又は排水施設等について具体的に記入して下さい。

※記入しきれなかった場合のみ
こちらを使用

(別紙1) 届出書の1の欄 当事者の住所等

当事者の別	氏名	住所
譲受人		
譲渡人		

(別紙2) 届出書の2の欄 届け出ようとする土地の所在等

譲渡人の氏名	所在	地番	地目		面積 (㎡)	土地所有者		耕作者	
			登記簿	現況		氏名	住所	氏名	住所
計	㎡ (田		㎡、	畑		㎡、	採草放牧地		㎡)

(記載要領) 本表は、(別紙1)の譲渡人の順に名寄せして記載してください。